

—まだ知らない“SUMIDA”が、あなたの創造を呼び起こす—  
**すみゆめプロジェクト in SUMIDA**

すみだには、まだ光の当たっていない素材や物語が眠っています。  
歴史、地形、暮らし、伝統、人の声——

この MAP は、そんな場所や出会いに触れる入口としてつくりました。  
そのどれもが、あなたの創作の出発点になるかもしれません。  
これまで 10 年間開催してきた  
「隅田川 森羅万象 墨に夢」(すみゆめ)の会場も記載しています。

ここに描かれた場所や記憶は、すみだを知るための入口にすぎません。  
ここから自由に発想を広げ、読み替え、創造してください。

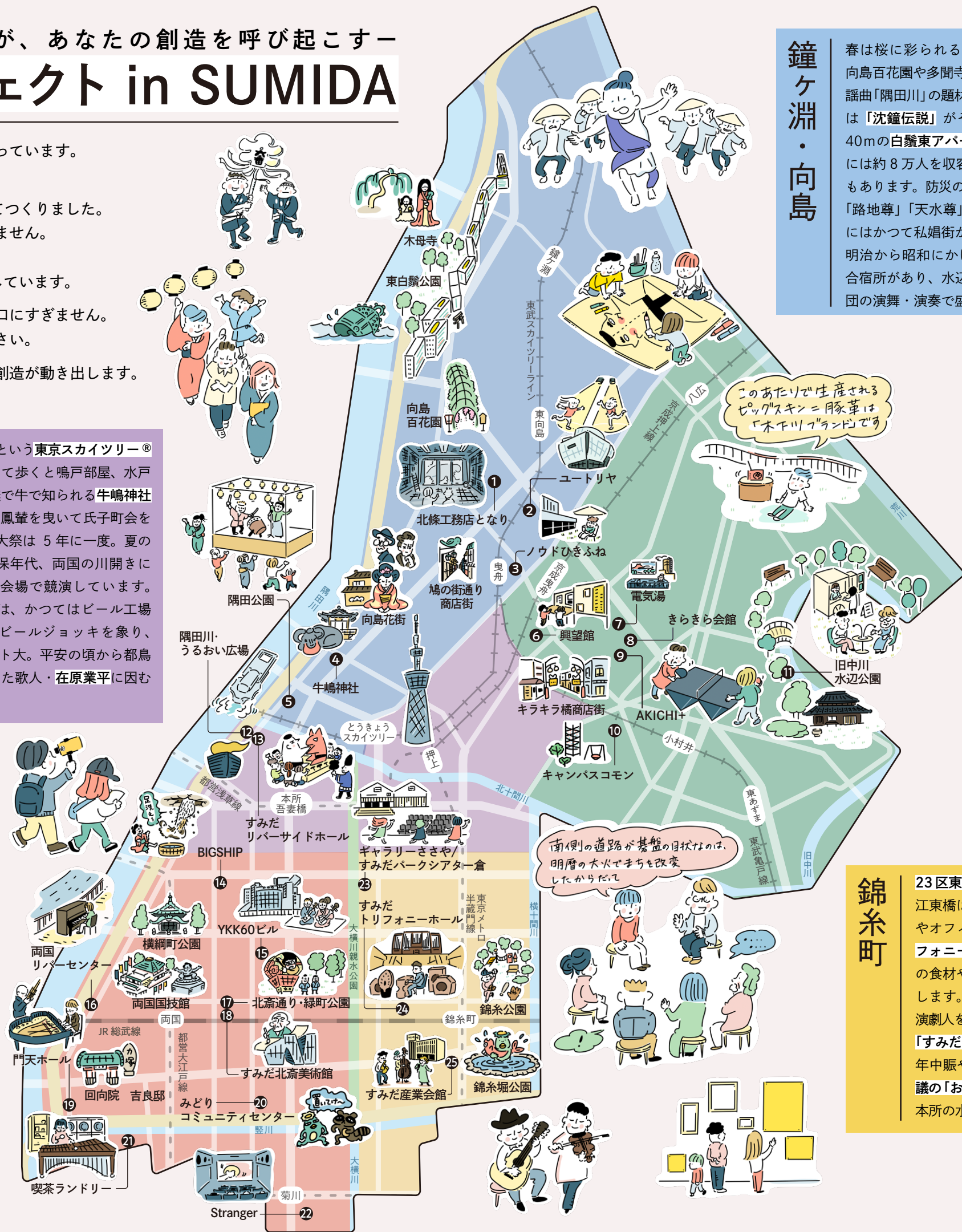
あなたのまなざしが、このまちと交わるとき、新しい創造が動き出します。

吾妻橋・押上

武蔵の国に因んで 634mの高さになったという**東京スカイツリー**®を起点に東武鉄道沿いを隅田川に向かって歩くと鳴戸部屋、水戸藩下屋敷の池を取り入れた**隅田公園**、撫で牛で知られる**牛嶋神社**へと続きます。黒牛が分け御霊を乗せた鳳輦を曳いて氏子町会を巡り、50基もの神輿が宮入渡御を行う大祭は5年に一度。夏の風物詩「**隅田川花火大会**」は江戸の享保年代、両国の川開きに始まり、いまは桜橋から厩橋までの二会場で競演しています。吾妻橋の袂に建つアサヒグループ本社は、かつてはビール工場で水運を活用していたとか。本社屋はビールジョッキを象り、「**金の炎**」の**オブジェ**と並んでインパクト大。平安の頃から都鳥が飛んでいたのか、恋人への思いを謳った歌人・**在原業平**に因む「**業平**」という町名も残ります。

両国・菊川

南国といえば**相撲**。**国技館**では大相撲の一月場所、五月場所、九月場所に多くのファンが集います。その歴史は日本書紀に遡り、勝者・野見宿禰を祀る神社が亀沢にあつて、近くには、**すみだ北斎美術館**が建ちます。津軽藩上屋敷跡地で**葛飾北斎**のゆかりの地。北斎の曾祖父は「**忠臣蔵**」の仇とされる**吉良上野介の家臣**だったとか。討ち入りの舞台は現在は小さな公園に。明暦の大火の被災者を埋葬すべく建立された**回向院**、**鼠小僧次郎吉の供養塔**は「どこでも入った」ことから受験生が願掛けで塔の石を削ることで有名。横網町に住む華屋与兵衛が酢飯に魚を乗せた江戸のファストフード、今日の握り寿司の原点です。菊川に縁ある有名人では、北町奉行・南町奉行を務めた遠山景元が「**遠山の金さん**」、火付盗賊改役・長谷川宣以（平蔵）は**池波正太郎**「**鬼平犯科帳**」で知られている。



鐘ヶ淵・向島

春は桜に彩られる隅田川、桜橋～言問橋辺りに「向島花街」があり、向島百花園や多聞寺などを巡る隅田川七福神は江戸っ子の楽しみでした。謡曲「隅田川」の題材「梅若伝説」が伝わる木母寺も近く、最寄駅の「鐘ヶ淵」は「沈鐘伝説」がその名の由来。鐘ヶ淵から白鬚橋まで 1.2 km、高さ 40mの白鬚東アパートは昭和 50 年代に都が中心となって建設、災害時には約 8 万人を收容し、建物群が巨大な壁となり区民を守る防災拠点でもあります。防災の意識はまちなかにも表れ、雨水活用による貯水タンク「路地尊」「天水尊」が各所に。路地が入り組む「玉の井」や「鳩の街」にはかつて私娼街があり、永井荷風「湊東綺譚」の舞台として知られます。明治から昭和にかけて、隅田川沿いには飛び込み台や大学ボート部の合宿所があり、水辺は賑やか。今も毎春の「早慶レガッタ」では、応援団の演舞・演奏で盛り上がります。

八広・京島

震災と戦災の記憶を刻む墨田区ですが、京島地区は被災を免れた**木造住宅が密集**し、レトロな雰囲気醸しています。**空き家や工場跡**で創作するアーティストが多く、カフェや民泊などでの活用も進みます。文花中学には夜間学級があり、かつては戦後の生活困窮で学習機会を逃した方々が就学、現在はアジア諸国の移住者が多数に。近年は文花に2つの大学が開校し、公民学の連携がはかられています。曳舟から亀戸まで5つの駅を**2両編成で行き来する東武亀戸線**、小村井駅を降りると梅園で有名な香取神社。近くに位置する吉野家住宅や立花大正民家園は明治・大正期の農家と町屋の特徴を併せ持つ建築物です。8つの河川と接する土地柄、水の利を活かして木下川地区を中心に皮革産業が発展し、**油脂・石鹼産業**も盛んでした。工場地帯で生きる若者を描いた『**下町の太陽**』は山田洋次監督の出世作です。

錦糸町

**23区東部を代表する繁華街**として発展してきた錦糸町。駅南口の江東橋は飲食店や場外馬券場などがあり、北口には大型商業施設やオフィスビル、そして墨田区音楽都市構想の拠点・**すみだトリフォニーホール**があります。通り沿いにはアジア・エスニック系の食材や料理を扱う店が並び、銭湯や江戸切子専門店なども点在します。映画や演劇のまちとしても古く、映画館や劇場があつて演劇人を見かけることもしばしば。**「すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り」「すみだストリートジャズフェスティバル」**などのイベントも多く年中賑やかですが、地名は「錦糸堀」から来ている、**本所七不思議の「おいてけ堀」**はここだとか。**落語**でも取り上げられる奇談は、本所の水路に棲む河童、あるいは狸の仕業との説が有力です。

発行：「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会事務局（公益財団法人墨田区文化振興財団内）  
編集：芦部玲奈、荻原康子、西村克己、水野立子（「隅田川 森羅万象 墨に夢」事務局）、  
橋本 誠（合同会社生活と表現）  
イラスト・デザイン：進士 遙



※**公演****コンサート**などのアイコンは、施設の機能や環境を踏まえ、特に適していると考えられる利用用途を示しています。施設等の利用にあたっては、申請手続きや使用料の支払いが必要となる場合があります。

鐘ヶ淵・向島

公演コンサート展示ワークショップ

## ② すみだ生涯学習センター「ユートリヤ」



ホール、ドーム、リハーサル室、陶芸室、研修室、茶室、視聴覚室、音楽室、展示ギャラリーなどを備える生涯学習施設。ドーム空間を生かした投影イベント「[「アップデートアーケテツ](#)（[巨人とラジオ体操](#)）」、開放的な雰囲気ギャラリーを活用した展示と音楽の企画「[すみだのかたち](#)」などがある。ジャンルを超えた複合的な利用が楽しめる。

- 墨田区東向島 2-38-7
- [公式サイト](#)

鐘ヶ淵・向島

公演展示ワークショップ

## ① 北條工務店となり



地域の工務店が運営する元紙器の製作工場を生かした多目的スペース。天井の高い170㎡の空間を生かしたインスタレーションやイベントに使用されている。すみゆめでは[AGAXARTが舞踏公演や舞台美術の公開制作に活用](#)。シャッターを開けるとまちの人が通りがかりに覗き見しているのも面白い。

- 墨田区東向島 3-22-10
- [Google Map](#)

両国・菊川

公演コンサートワークショップ

## ⑮ YKK60 ビル AZ1 ホール



建築家・槇文彦の設計で1993年に竣工。社屋内のホールを地域貢献の観点から、すみゆめ事業に提供いただき、シンポジウムや講座等の企画のほか、「[キノカブの学校ごっこ](#)」[、柳生二千翔の演劇「アンダーカレント](#)」、[明暮れ小唄「北斎小唄](#)」などで活用されている。

※一般貸しはしていない

- 墨田区亀沢 3-22-1
- [Google Map](#)

鐘ヶ淵・向島

公演展示ワークショップ

### ③ ノウドひきふね

東武スカイツリーライン曳舟駅前にある民営のコミュニティスペース。ドロップイン可能なコワーキング・レンタルスペース、カフェ、シェア本棚、広場などを備える。気軽に参加できるイベントも多く行われている。

- 墨田区東向島 2-29-13
- [公式サイト](#)

吾妻橋・押上

公演コンサートワークショップ

### ⑭ 本所地域プラザ BIGSHIP

公設民営のコミュニティ施設。多目的ホールは音響設備が整い、グランドピアノもあり、小規模な音楽イベントやリハーサルなどに最適。すみゆめでは、生演奏盆踊りの練習会に用いられてきた。

- 墨田区本所 1-13-4
- [公式サイト](#)

鐘ヶ淵・向島

公演コンサートワークショップ

## ⑤ 隅田公園そよ風ひろば



浅草と東京スカイツリーを繋ぐ中間に位置。2020年に、東武鉄道高架下の商業施設「ミズマチ」の開設と共にリニューアルされた。広々とした芝生広場、電気設備なども備える舗装広場があり、イベント等での利用にも対応。野外シネマ「[すみだパークシネマフェスティバル](#)」、新旧の音楽で踊るを楽しむ「[すみゆめ踊行列：SUMIBON](#)」などが行われている。

- 墨田区向島 1-3
- [公式サイト](#)

八広・京島

ワークショップ

## ⑨ AKICHI +



キラキラ橋商店街の空き地に2025年に整備された広場空間。UR都市機構が防災の一環で取得した土地を、地域に開放している。同地域で実施してきた「[Ping Pong Platz](#)」とのコラボ企画として、アーティストがデザインした卓球台が常設され、老若男女の遊び・交流の場として活用されている。

- 墨田区京島 3-52-2
- [Google Map](#)

両国・菊川

公演コンサートワークショップ

## ⑰ 北斎通り・緑町公園



葛飾北斎の偉業を記念して、その生誕地である本所割下水（亀沢1～4丁目）に整備された「北斎通り」。約1kmの通り沿いには緑町公園と「[すみだ北斎美術館](#)」があり、一体的に活用されることも。2006年から毎年秋に開催されている「[北斎祭り](#)」では、弘前から来たねぶたが通りを運行する圧巻の風景が出現。

- 墨田区亀沢 1～4
- [Google Map](#)

八広・京島

公演コンサート展示ワークショップ

### ⑦ 電気湯

大正11年創業、100年をこえて地域に愛される老舗銭湯。4代目店主が跡を継ぎ、[ユニークなイベント](#)を多数仕掛ける。映画『PERFECT DAYS』のロケ地としても知られ、全国から客が訪れている。

- 墨田区京島 3-10-10
- [公式サイト](#)

両国・菊川

公演コンサートワークショップ

### ⑳ 墨田区みどりコミュニティセンター

駅から徒歩圏内、多目的ホール、スタジオ、トレーニング室のほか、緩帳・照明付きの和室（66畳）がある。近くには銭湯もあるので、踊ったり歌ったりした後に、ひと風呂浴びるような企画もあり得るかも。 ※令和8年3月31日まで工事に伴い休館

- 墨田区緑 3-7-3
- [公式サイト](#)

両国・菊川

公演ワークショップ

## ⑮ 隅田川テラス・両国リバーセンター付近



親水テラスが整備され、ジョギングや散歩をする人も行き交う。駅近で水上バスの発着所がある「両国リバーセンター」では、階段に腰かけて川の景色をのんびり眺められる。川を背景にピアノを弾きたい人たちが集う「[ストリートピアノすみだ川](#)」、川沿いを練り歩いて演奏する「[隅田川道中](#)」などで活用されている。

- 墨田区横綱 1-2-13
- [公式サイト](#)

八広・京島

公演ワークショップ

## ⑪ 旧中川水辺公園



荒川放水路で分断された中川の下流、江戸川区へと続く約7kmに及ぶ河畔に整備された公園。穏やかな水辺には多彩な水鳥や水生生物が集い、春は数種の桜で彩られ、梅雨時には紫陽花も咲き揃う。「立花大正民家園」も近い。ゆったりした自然環境が味わえる場所、[ビクニックのような企画](#)に向いているかも。

- 墨田区東墨田 1・3丁目、立花3・5・6丁目
- [公式サイト](#)

錦糸町

公演コンサートワークショップ

## ㉔ すみだ産業会館



錦糸町駅南口、錦糸町マルイの8・9階にある区の施設。1,200㎡のホール（展示室）は用途に応じてサイズ可変、5つの会議室も備えている。すみゆめでは[コンサート](#)やトークイベントを行ってきた。抜群の立地で稼働率が高いため早めの予約がおすすめ。

- 墨田区江東橋 3-9-10
- [公式サイト](#)

錦糸町

公演コンサート展示ワークショップ

## ㉔ すみだパークギャラリーささや・シアター倉



倉庫を転用した大空間が、約 200 平米のギャラリー、151 席常設のシアターにカフェを併設した複合文化施設として活用されている。すみゆめでは「[すみだパーク・扉座大人演劇部](#)」が公演を重ねる。また「[すみだみらいアーティストプロジェクト](#)」では、隣接する大横川親水公園との一体利用が試みられた。

- 墨田区横川 1-1
- [公式サイト](#)

吾妻橋・押上

公演コンサートワークショップ

## ⑫ 隅田川（吾妻橋～桜橋）・うるおい広場



人通りの多い吾妻橋、東武鉄道に沿うすみだリバーウォーク、人道橋の桜橋まで、隅田川の景色として象徴的に知られるエリア。水上バスの発着所に臨むうるおい広場は、地元の盆踊り会場にもなる。鈴木康広「[ファスナーの船](#)」、船上でパフォーマンスに出会う「[螺旋の川](#)」、「[隅田川、音、めぐる](#)」など、船を活用した企画も実施されている。

- 墨田区吾妻橋 1-23-20
- [Google Map](#)

区内全域

## ● まち歩き・ツアー型企画



すみだを拠点とした文豪作品のリーディングと、すみだの都市景観をミックスしたオーディオガイドを聞きながらゆかりの地をツアーする[小林企画「隅田川文学散歩](#)」。向島を舞台に「謎の音」を解明する調査員として参加者が街歩きをする演劇作品、[謎音研究所「謎音-水底から鳴る鐘-](#)」。隅田川沿いの7カ所に

視聴スポットを設け、隅田川を題材とした音声だけの演劇作品、[un「すみだ川ラジオ倶楽部 川を流れる七不思議編](#)」等、サイトスペシフィックな試みが多数ある。